

滋賀県議会だより



No.101

編集・発行 / 滋賀県議会

2月定例会議の概要

2月17日～3月23日の36日間

2月定例会議では、総額で5,705億円の「令和2年度滋賀県一般会計予算」や、国土強靱化等の国補正予算の対応として約127億8,600万円を追加する「令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第6号)」など知事提出議案90件と議員提出議案8件が上程されました。これらを審議した結果、意見書案2件を否決したほか、いずれも原案

のとおり可決または同意しました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。特に新年度予算では、委員41人で構成する予算特別委員会が設置され、質疑や分科会調査を行いました。

●新型コロナウイルス感染症に関連する補正予算を可決

国の緊急対策やまん延防止の対策等に要する経費について、約3億8,700万円を追加する「令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第9号)」、約3億8,600万円を追加する「令和2年度滋賀県一般会計補正予算(第1号)」等を可決しました。



文化政策

問 近代美術館のリニューアルにあたり、「神と仏の美」、「近代・現代美術」、「アール・ブリュット」の3つの美を1つの施設で発信する新生美術館を整備する計画だったが、今回、近代美術館と琵琶湖文化館後継施設の2つの拠点を核に発信する方針へ転換されました。

答 滋賀には自然と共生する文化の中で生み出されてきた様々な美の資源があり、それらの魅力をみんなで発信し、県民の誇りとするとともに、多くの人々を県内各地に誘い、地域の活性化につなげていこうというのが、「美の滋賀」の概念です。この概念を滋賀の魅力向上のために今後も生かしていくということに変わりはありません。今回の方針転換の経緯については、今年度、琵琶湖文化館の機能継承の在り方を検討した結果、「神と仏の美」の発信拠点となると同時に文化財の保存・継承・活用・発信の拠点となる、独立性の高い施設、専門性の高い組織・体制を備えたものとする方針を取りまとめました。一方、近代美術館では、アール・

ブリュットや近・現代美術の作品収集を進めるとともに、県内移動展示や他県での巡回展等を通して、美術ファンの関心を絶やさない取組等を行っており、再開館時には、琵琶湖文化館の収蔵品なども活用し作品展示等を展開してまいりたいと考えています。これに伴い新たな方針のもと、来年度、新生美術館基本計画に代わる形で「美の滋賀」の発信方針を検討し、3つの美をどのように見せていくのか全体像を示す考えです。

医療政策

問 新型コロナウイルス感染症の状況が予測不能である中、今後の対応と追加予算の検討について伺います。

答 今後、新型コロナウイルス感染症患者が増加することを想定し、対策をとってまいります。現在県内に設置している感染症指定医療機関の感染症病床数は34床ですが、それ以上の患者が認められた時には、感染症病床以外の病床を確保したうえで入院治療を行えるよう、対応する医療機関を広げ、重症者を救うための体制を整えてまいります。また状況の変化に応じ、検

県政運営

問 新年度予算について、4つの柱に込めた知事の思いと県民福祉の向上へのつながりについて伺います。

答 1つ目は「未来への投資」です。仕事と不妊治療の両立支援や、困難な課題を抱える子どもへの支援など、次代を担う子どもたちを取り巻く課題や可能性に目を向けた施策を展開してまいります。2点目は、「世界とつながり、わくわくするチャレンジ」です。東京オリパラの好機を活かした観光インバウンドの拡大や、介護分野や県内中小企業等における外国人材の受入支援など、世



世界遺産登録を目指す彦根城

環境政策

問 知事は年頭の挨拶で2050年までに排出するCO₂を実質ゼロにすることを宣言し、しがCO₂ネットゼロムーブメントとして取組への賛同者の募集を開始されたが、環境先進県として更なる施策展開に向けた知事の覚悟を伺います。

答 昨今の気候変動による甚大な被害の発生は、まさに非常事態であり、今を生きる私たちが取組を始めることによ

用語解説 ※1 「アール・ブリュット」… 特定の美術や教育の流れからはみだし、美術的なスタイルから何の影響も受けていない、全く個人的かつ独創的な方法でつくられた絵画や造形のこと。

り、未来に対して責任を果たさなければならぬと考えます。

宣言して以降、既に1万人を超える県民の方に御賛同いただいております、この取組を通じて社会の仕組みや県民のライフスタイルの変革につなげてまいります。

また、本県には、グローバルなサプライチェーンの一翼を担う製造業の集積も進んでいることから、脱炭素社会の実現に積極的に取り組むことが、環境・社会・経済の統合的向上につながるという考えの下、技術革新への支援を通じて、世界のCO₂ネットゼロにも貢献してまいりたいと考えています。

これらを念頭に、滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例を改正し、県民、事業者、行政が一体となって取り組んでまいります。

学校教育

問 滋賀に根差した世界に通用するグローバル人材の育成のためにどのような学びを推進するのか伺います。

答 グローバル人材の育成には、英語で積極的に自らの考えを発信し、適切にコミュニケーションを図る力を向上させることが重要です。そのため小学校では、英語を楽しく英語で伝えあうこと、中学校・高等学校では、英語で情報や考えを理解し、

表現し伝えあうことを基本とし、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に育成することに努めており、小・中・高の校種の枠を越え、教員が研修に取り組んでいます。

また、令和2年4月から導入する国際バカロレア・ディプロマプログラムでは、問題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション力などを重視する双方向で協働型の授業を行います。その先進的な取組を全県に普及することとで教員の指導技術の養成と生徒のコミュニケーション力の向上を図ってまいります。

さらに小・中・高校生を対象としたイングリッシュキャンプや高校生の海外実習などの取組を通して、主体的かつ積極的にコミュニケーションを図る力や、多様な人々と協働する力を備えた人材の育成を目指した学びを推進してまいります。



小学校における英語教育

福祉政策

問 児童虐待については、現在3つのセンターで対応

応しているが、今後の体制強化について伺います。

答 人員体制の強化については、国の児童虐待防止対策体制総合強化プランに基づき、来年度、子ども家庭相談センター職員を全体で11人増員する考えです。

あわせて、これまでの新任研修や県が独自に構築した段階別研修に加え、来年度は、虐待の再発防止に向けた保護者への指導を強化するための研修を実施し、職員の対応力の強化に努めてまいります。

また、特に彦根子ども家庭相談センターは管轄区域が広く、所管する市町も多いことから、必要となる体制の在り方を検討してまいります。

管轄人口や児童数の推移、地理的条件、交通事情、所管する市町数など、様々な観点を踏まえながら、虐待事案へ迅速かつ的確に対応し、市町との一層の連携を図る上で必要となる県全体の子ども家庭相談センターの在り方についても検討を開始してまいります。

農業政策

問 種子法廃止に伴う新条例について、目的や基本理念、県の責務をどのように位置づけているのか、また制定のスケジュールについて伺います。

答 新たな条例では、本県農業を取り巻く情勢の大

きな変化や課題に対応し、多様な農業者が意欲と誇りを持って農業に取り組む環境づくりを目指しています。そのために、将来にわたり本県農業の生産力を高めることによつて農業者の所得向上に結び付けるとともに、琵琶湖とその周辺地域の環境保全を図ることを基本理念として考えています。

このことを実現するため、持続的で生産性の高い農業の推進に関する施策を総合的に実施することとします。具体的には、主要農作物の種子生産や安定供給と併せて、滋賀の気候風土に合った品種の育成などを進めたいと考えています。

今後、農業・水産業基本計画審議会をはじめ、県民の皆様から御意見を伺いながら、「(仮称)「持続的で生産性の高い滋賀の農業推進条例」案を、今年の秋には提案できるように、さらに検討を進めてまいります。



高温に強い水稻品種の育成施設(農業技術振興センター)

2月定例会議で審議した意見書

番号	件名	結果
意見書第1号	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を求める意見書案	可決
意見書第2号	温室効果ガスの排出量実質ゼロを求める意見書案	否決
意見書第3号	後期高齢者医療制度における窓口負担の原則1割の継続を求める意見書案	否決
意見書第4号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書案	可決
意見書第5号	二酸化炭素排出量削減に向けた取組の強化を求める意見書案	可決
意見書第6号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書案	可決
意見書第7号	一定の規模以上の施設等における調理師設置の義務付けを求める意見書案	可決

議会からのお知らせ

●滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。

また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。(※スマートフォン等でも御覧いただけます。)

[滋賀県議会ホームページ](https://www.shigaken-gikai.jp/) <https://www.shigaken-gikai.jp/>

[滋賀県議会Twitter\(アカウント名 @shigakengikai\)](#)



2月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
(議員提出) 会第1号	知事の専決処分事項の一部改正につき議決を求めることについて	可決
(知事提出) 議第1号~議第16号	令和2年度滋賀県一般会計予算 ほか15件	可決
議第17号~議第44号	滋賀県知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例案 ほか27件	可決
議第45号~議第53号	契約の締結につき議決を求めることについて(国道421号補助道路整備工事) ほか8件	可決
議第54号~議第55号	令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第6号) ほか1件	可決
議第56号	滋賀県義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例案	可決
議第57号~議第73号	令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第8号) ほか16件	可決
議第74号~議第76号	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案 ほか2件	可決
議第77号~議第84号	契約の締結につき議決を求めることについて((仮称)金亀公園第1種陸上競技場新築工事) ほか7件	可決
議第85号~議第87号	滋賀県教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて ほか2件	同意
議第88号~議第90号	令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第9号) ほか2件	可決

2月定例会議で採択した請願

- 調理師法の改正に関する意見書の提出を求めることについて

用語解説

※2「サプライチェーン」… 原材料、部品の調達から生産、物流、販売まで一貫した製品供給の流れのこと。

※3「国際バカロレア・ディプロマプログラム」… 16歳~19歳を対象とし、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験で所定の成績を取ると、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)が取得可能なプログラム。

滋賀県議会では、県民の皆さんに議会の活動を一層御理解いただくため、わかりやすい広報紙づくりに努めています。滋賀県議会だよりに関する御意見は下記までお寄せください。

あて先 〒520-8577 大津市京町4-1-1 滋賀県議会事務局 政策調査課 TEL 077-528-4094 FAX 077-528-4940 Eメール gikai@pref.shiga.lg.jp